



附中だより

第12号

教育目標「知性と品位をもち、社会を興す人となろう」

卒業式で119名の生徒たちが巣立っていきました。

3/2(火)に卒業証書授与式を開催しました。卒業生は大きな返事とともに証書をしっかりと受け取り、卒業合唱では卒業式用に練習を重ねた「春に」を歌いました。各家庭1名という制限はありましたが、保護者は体育館で生徒たちの卒業を祝福し、その後1、2年生教室から終会の様子をZoom参観しました。在校生は自分の教室でZoom接続した画面越しに、卒業式に参加しました。在校生は来年度、再来年度の自分たちの卒業式に見通しを持ち、「卒業生のように立派に卒業していきたい」という憧れを抱くことができました。



【卒業生入場】



【証書授与】



【学校長式辞】



【附属学校部告辞】



【素心会長祝辞】



【送ることば】



【旅立ちの決意】



【思いを込めて、卒業合唱を歌いました。】



【3学年主任挨拶】



【301最後の終会】



【302最後の終会】



【303最後の終会】



【最後の終会が終わり、3年生は附属長岡中学校という学び舎を巣立っていきました。】

以下、当日の式辞を紹介します。

式辞

校長 柳沢 学

附属長岡中学校での3年間の教育課程が終わりを迎えようとしています。すでに皆さん一人一人の手元には、卒業証書が手渡されています。思えば、昨年1月ぐらまでは、皆さんはごく普通の附属中学校での学校生活を送っていました。しかし、昨年の2月から今までの1年間に起こったことは、私たちの誰もが想像すらできなかったことです。

「不確実性の時代」という言葉を知っていますか。アメリカの経済学者ガルブレイスが1977年に出版した本のタイトルで、日本では1978年に出版され、当時、ベストセラーになるとともに、「不確実性の時代」は流行語にもなりました。内容は経済学ですから、私たちにはわかりにくい所もあります。内容を一部要約して紹介します。

『資本主義や社会主義をはじめとする様々な社会システムは、理想は人々の暮らしを豊かに幸せにすることだ。そして、それらを主張する人は、間違いなくその理想は実現されると信じていた。ところが、理想を具体化すればするほど、資本主義においてはより利益を多く得ようとする一部の企業や、社会主義においては権利を有利に働かせようとする一部の官僚によって、システムに歪みが生まれるようになった。一時的に、あるいは部分的にこれらの問題を解決できたとしても、世の中全体が「こうすれば間違いなくこうなる」というような解決方法を見つけることはできないし、確実な予測も存在しない。ただし、「自分に何ができるか」を考えることはとても大事なことである。』

このガルブレイスの考え方は、その約10年後の1990年頃に日本を襲った「バブル経済の崩壊」やさらにその約20年後の2008年にアメリカで起こった「リーマンショック」にもあてはまると言われています。ここまでの話は、今の皆さんには分かりづらい内容だと思います。正直言って私にも詳しくはわかりません。将来、経済学の勉強をすることがあったら、思い出してみてください。

ところで、ガルブレイスが用いた「不確実性の時代」という言葉は、新型コロナウイルスで先行きが見えない今の時代にもあてはまります。誰にもこれからのことは予測できませんし、最善の解決策もわかりません。でもガルブレイスが言った「自分に何ができるかを考えることは大事だ」ということもまた、今の時代に必要なことです。ただ、皆さんは行動の中ですでに示してくれています。様々なことが予定どおりに行かない中で、何度か皆さんから出てきた言葉があります。それは、「何かができないと不満を言うのではなく、今の状況でできる最善のことを考えやってみよう」です。最適解や納得解が求められるこれからの時代を生き抜くためには、皆さんが考え実践しているこの考え方が大事です。これからも、「自分に何ができるか」を考え、前進を続けてください。

さて、今日は、中学校を巣立つ皆さんのために附属学校部統括長 佐藤哲夫様、素心会長 屋代みゆき様、附属幼稚園長 山川和子様、附属長岡小学校長 高橋喜一郎様からお出でいただいています。お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。

保護者の皆様、今、生徒たちは立派に卒業いたします。自分の夢の途中にあって、これからも道に迷い、挫折することもあるかもしれませんが、これからもいつも寄り添い、励ましてやっていただくようお願いいたします。本日は、誠におめでとうございます。

卒業生の皆さん、皆さんが附属長岡中学校を旅立つときが近づいています。4月からの新しい環境の中で、皆さんがそれぞれの個性を生かし、さらに成長することを期待して皆さんへの花おけの言葉とします。

今年度の「いじめ見逃しゼロスクール集会」について

今年度小学校との共催でいじめ防止のための活動を計画していましたが感染対策の一環として実施を見合わせました。そこで中学校では7月、12月、3月に全校道徳としてネットモラルを主たる題材に、望ましい人間関係のあり方について考える活動を行いました。生徒はアンケートや各学級の代表の意見発表などを通して自分の行動を見つめ直す機会としてくれました。



3/12 配付の文書の内容訂正について

3/12に『令和3年度「年間行事計画(案)」の配付と「3~4月のPTA活動等」について』を配付しました。「4/26(金)校園引渡避難訓練」と記載されていますが、正しくは「4/26(月)」です。お詫びして訂正いたします。

新潟大学部附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホムページ <http://www.nagaoka.ed.jp/>

